

科目名	靴材料学			授業の種類	講義	講師名		
授業回数	15回	時間数	30時間 (2単位)	配当学年・時期	整形靴科1年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕								
適切な靴の製作には、靴に関する様々な知識が不可欠である。とりわけ整形靴の製作を行う場合において、靴のそれぞれのパーツに用いる材料やその接着方法についての知識は不可欠である。靴製作に使用する材料やその接着方法について学ぶことで、適切な靴製作の知識を学ぶことを目的とする。								
〔授業全体の内容の概要〕								
靴の材料と接着方法を主要テーマとして講義を行う。それぞれの回に学んだことに関しては次回の講義で小テストを行い、知識の確認をする。講義の最後に試験を行い、その点数をもって評価とする。								
〔講師の実務経験〕								
義肢装具製作所である株式会社エヌ・オー・ティーにて医療用の整形靴および足底装具の製作販売、材料管理など関連業務に従事。整形靴の木型製作・製甲・底付け・適合技術、足底装具の製作、材料の知識に精通している。								
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕								
①靴を製作するのに使用される様々な材料についての知識をもつ。 ②靴のそれぞれのパーツについて使用される材料の種類とその特性について知識を持つ。 ③靴の材料の接着方法について理解する。								
回数	講義内容							
1	概論：講義の概要 接着剤							
2	材料概論と靴の構造							
3	靴製作の歴史・良い靴とは							
4	ソールの材料							
5	コルクとクッション材							
6	靴底の補正							
7	まとめテスト							
8	皮革の概論 使用される動物による分類							
9	なめしの工程							
10	革の品質チェック							
11	甲革の分類							
12	内装革と底革の分類							
13	まとめテスト							
14	足底板の知識							
15	木型							
	定期筆記試験							

【 準備学習・時間外学習 】

--

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
参考書「新・靴の商品知識」	エフワークス(株)	エフワークス(株)
整形靴の基礎知識	島村 雅徳	JESC

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

試験の成績90点+小テスト平均10点の100点満点で評価する
